

浅野川線 瓦版 あさでん 伝 10号車



内灘

北鉄金沢

人と街をつなぐ・環境にやさしい電車・バス



あさでんまつり



粟ヶ崎

七ツ屋

蚊爪

上諸江

北間

磯部

大河端

割出



ミニ電車
体験乗車会
(無料)



鉄道模型
展示と運転



8000系
運転台体験と
写真撮影会



むかしの
写真展開催



鉄道用品
グッズ
旧記念券販売

24TH WORLD KITE FESTIVAL IN UCHINADA 2012

3日 10:00~風揚げ 18:00~歓迎セレブション 4日 9:30~風揚げ

内灘町制施行50周年

第24回世界の
凧の祭典

2012.5/3 不祝/4 金祝

内灘海水浴場特設会場
(石川県河北郡内灘町)

雨天決行

内灘町制施行50周年の世界実行委員会、日本の凧の会、石川テレビ放送

内灘町制施行50周年の世界実行委員会事務局
TEL:076-220-8206(内線026-2710) 電話 FAX:076-220-6714 E-mail: shounakai@ybb.net.uochinada.jp
URL: http://www.town.uchinada.lg.jp/ お問い合わせ 平日 9時~17時30分(土・日 8時~)

MAP

当日、自家用車の専用駐車場はありませんので、
浅野川線の電車をご利用願います。
内灘海岸では、「第24回世界の凧揚げ大会」が
開催。内灘駅から海岸までシャトルバス運行。

三ツ屋

三口



浅野川線 駅の歴史シリーズ①



【北陸鉄道浅野川線北間駅と北間町について】

北陸鉄道浅野川線は、大正14年に七ツ屋から大野川の手前の新須崎まで開通していますので、北間駅は87年前に出来たことになります。

初めて電車が来たときの様子を想像してみると、村民の驚きは大変だったに違いないと思います。どのか田園地帯の中をポーと汽笛を鳴らしてホームに入って来たときは、万歳、万歳の声が駅のホーム一杯に溢れたに違いありません。

駅から正面の東側を見ると、白山から能登半島に繋がる山並みが見られ、朝日は季節によって違うがその山並みのどこかから顔を出し北間駅の1日が始まり、陽はながれ駅を通過して田園地帯の向こうの大野川から日本海の方に赤く燃えながら陽は沈み、満天の星空が輝きを増すころ北間駅の1日は終わります。

現在の駅舎になるまでは駅舎にドアがなく、冬は、北風と雪がまともに吹き込んできました。ホームの端の方は枕木のようなものでできており、どこか山里の駅のようでした。駅には、誰が植えたか定かではないが、大きな桜の木が1本あり、4月上旬には見事な花を咲かせ、新入生の肩に花弁が舞い降りて門出を祝っていました。その桜の木は、老木になって花が咲かなくなり、いつの間にかななくなってしまいました。駅の周囲も、駅前にあった潟津農協がなくなり、ほとんどの村（町）民が通った潟津小学校は浅野川小学校に変わり、駅西側の町の入口にはマンションもできました。

ところで、私が子供の頃は、そんな駅に赤とクリーム色の電車がのんびりと尾山（金沢）と内灘を行き来していました。お年寄りの方から聞いたところによると、夏の間だけ内灘から宝塚のような粟ヶ崎遊園地があったというアカシアの林の中をキーキー音を響かせながら粟ヶ崎海岸まで海水浴客を運んでいたとのことです。

当時の北間駅は大変活気があり、朝の通勤・通学時間帯は都会のラッシュアワー並みで、3両編成の電車は駅のホームをはみ出し、ホームの外から学校に遅れまいと満員電車に無理やり乗り込んだことを思い出します。また、フナ、川キスなどの魚釣りのメッカであった北間地内のセド川や大野川への釣り客や粟ヶ崎からの行商のおばちゃんも乗り降りしていました。

現在の北間駅は新しくなり、駅舎もドア付きで冬の北風も雪も吹き込まないものになりました。また、ホームも枕木ではなくコンクリートになり、小さいけれど駅らしくなりました。電車も冷暖房完備のとても乗り心地が良い車両になり、スピードもアップしました。

しかし、北間駅は昔のような活気はなくなり、釣りのメッカだった刈り取った稻を一杯に積んだ田舟が行き来していたセド川は埋められ、車社会のための道路になりました。そして、サラリーマンの多くは電車通勤から車通勤に変わっていきました。シーズンに多くの釣り人も、時代の変化から行商のおばちゃんも、いつの間にかいなくなっていました。そして、北陸鉄道浅野川線が廃線になると話まで聞かれるようになりました。

生活環境も変わり道路も整備されて車社会になり、利用者が少なくなることはしかたがないことかもしれません。私は、地球温暖化が呼ばれる今だからこそ環境にやさしい電車が走り続けるために多くの人の利用が大事になってきていると思うのです。

北間駅が今後もズーッと現在の場所にあり、これからも町民の乗り降りを見守り続けいつも元気で「行ってらっしゃい。」また、「お帰りなさい。」と声をかけてくれることを切に願ってやみません。

北間町会長 高田 実



これからも、色々な情報を載せていきます。
「こんな話はないのか」など、ご意見いただければ幸いです。
よろしくお願ひいたします。

浅伝1~9号車はHPで読みます

北陸鉄道

検索

<http://www.hokutetsu.co.jp/>

発行：北陸鉄道 鉄道部「浅伝」係（河崎）
TEL.076-272-2221

協力：金沢市交通政策課 TEL.076-220-2038
内灘町産業振興課 TEL.076-286-6708